9．履修ガイドライン等

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
秋田 祐哉	知能情報学	統計データ分析基礎A 統計データ分析応用A	統計データ分析基礎A 統計データ分析応用A		データマイニングや機械学習・深層学習などの情報科学的な手法を用いた研究に興味のある学生を受け入れます。
安達 貴教	産業組織論、競争政策論、応用ミクロ経済学、実証ミクロ経済学	産業組織論B	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 上級統計学 経済学のための数学	産業組織論A 産業組織論B	産業組織論や競争政策論を中心として、（広義の意味での）不完全競争の経済学に関する実証分析・理論分析に関心のある学生を受け入れる。博士後期課程に進学希望の場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修め、かつ、最低1科目は「A」を取得していることが指導を受けるための必要条件である。
砂川 伸幸	コーポレートファイナンス、証券投資	コーポレートファイナンス（経営管理），バリュエーション（経営管理）	上級統計学 中級ミクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学	財務会計A 上級ミクロ経済学 コーポレートファイナンス	コーポレートファイナンスや証券投資の実証分析を中心とした研究を行います。実証研究のためには，理論的な学術研究を読んで理解することが必要になります。この領域に興味がある人は，最近の Journal of Finace や Journal of Financial Economics の論文をながめてみてください。
依田 高典	情報通信経済学・行動経済学	産業組織の経済分析 ネットワーク産業の経済分析 リスク・環境経済学	経済学のための数学 上級ミクロ経済学 上級計量経済学	中級マクロ経済学または上級マクロ経済学	情報通信経済学または行動経済学に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
江上 雅彦	ファイナンス工学、不確実性下における最適化問題	ファイナンス工学１ ファイナンス工学２ ファイナンス工学特論Ａ ファイナンス工学特論Ｂ	ファイナンス工学１・２ ファイナンス工学特論Ａ・Ｂ 経済学のための数学	上級ミクロ経済学 上級計量経済学	確率モデルを使った最適化問題、派生証券の価格付け、リスク分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合、履修すべき科目において平均で「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
草野 真樹	財務会計 国際会計	財務会計論A 国際会計論B	財務会計論A・B 管理会計論A・B 事業創成会計論A・B 国際会計論A・B 中級計量経済学	経営学原理 経営学研究法 ミクロ経済分析 上級計量経済学 上級統計学	財務会計，国際会計に関する実証研究に興味を持つ学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合，ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件とします。
黒澤 隆文	比較産業論、比較産業史、ヨーロッパ経済史・経営史、多国籍企業史、経済政策史	史的分析概論 Industries and Global Competition Economic Development and Policy in the Asia-Pacific 社会経済史リーディングB Historical Approaches to Business and Economics A	史的分析概論	世界経済史・経営史 日本経済史・経営史 Economic Development and Policy in the Asia Pacific Industries and Global Competition Historical Approaches to Business and Economics	研究分野・手法に関しては、以下の3つのいずれかに該当する大学院生を受け入れます。 ①産業論・産業史・産業政策に関する分析（対象地域を問わない） ②ヨーロッパの経済・経営・政策に関する分析 ③経済史・経営史（地域を問わない） また一般に、歴史的な視点と手法に関心があること、今日の社会の多様な問題について関心と問題意識を持つことを指導の条件とします。
坂出 健	欧米経済史	欧米経済史A 欧米経済史B 社会経済学・古典研究B	史的分析概論A 史的分析概論B		冷戦期以降の政治経済史に関心のある学生を受け入れます。
佐々木 啓明	経済成長論 景気循環論 マクロ経済動学	経済変動論 現代経済理論 技術と進化の経済動学	経済変動論 上級マクロ経済学 上級ミクロ経済学 中級計量経済学 経済学のための数学	現代経済理論 技術と進化の経済動学 Political Economy	新古典派、古典派、ケインズ派、ポスト・ケインズ派等の経済理論に基づき、経済成長や景気循環に関する理論分析および実証分析による研究を行う学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した、経済変動論、上級マクロ経済学について「A」、上級ミクロ経済学、中級計量経済学、経済学のための数学について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
澤邉 紀生	管理会計	管理会計論Ａ 管理会計論Ｂ 会計文化論Ａ	会計学、財務会計論Ａ・Ｂ，事業創世会計論Ａ・Ｂ，管理会計論Ａ・Ｂ,会計文化論Ａ・Ｂ	経営学原理、中級統計学、中級計量経済学、中級ミクロ経済学	会計制度やマネジメント・コントロールの会計学的研究に興味をもつ学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合には、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
島本 哲朗	マクロ経済学・金融	現代金融理論1	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学	経済学のための数学 上級計量経済学	マクロ経済学や金融現象に関する経済分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
神事 直人	国際経済学	国際経済学1 国際経済学2	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学	経済学のための数学	国際貿易と関連する諸問題に関する経済分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
関口 倫紀	人的資源管理論・組織行動論	人的資源管理論	経営学方法論 経営学原理 人的資源管理論		組織における人間行動の理解およびその応用としての経営管理および人的資源管理に関する研究に興味がある学生を受け入れます。先行文献を咀嚼したうえで、独自の問題意識に基づき、適切な方法論で実証研究を行うことが求められます。
竹内 憲司	環境経済学	環境経済分析A 環境経済分析B	経済学のための数学 上級ミクロ経済学 上級計量経済学		環境経済学に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目で「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
田中 彰	日本経営史 産業経済論	日本経済史・経営史 経営史・産業論リーディングA/B 社会経済史リーディングA/B Industries and Global Competition On-site Research Training A/B	史的分析概論 日本経済史・経営史 Economic and Business History	経営史・産業論リーディングA/B 社会経済史リーディングA/B Industries and Global Competition	日本あるいはアジア太平洋地域の企業システム・企業間システムを歴史的観点をふまえて研究しようとする学生を受け入れます。
チョルパンアスリ	企業戦略 企業統治 国際経営	Strategic Management Corporate Strategy and Organization	経営学原理 経営学研究法	企業戦略論	大企業の戦略や組織、コーポレートガバナンスの理論的・実証的研究に興味がある学生を受け入れます。
西山 慎一	マクロ経済学 財政金融政策	応用マクロ経済分析 Macroeconomics	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 経済学のための数学	中級または上級統計学 中級または上級計量経済学	動学一般均衡成長モデルを用いた財政金融政策の分析、特に税制・社会保障改革や資産・所得格差の分析に関心のある学生を受け入れます。
根井 雅弘	現代経済思想史	現代経済思想史1 現代経済思想史2	ミクロ経済学とマクロ経済学を履修済みまたは履修中であることが望ましい。	ミクロ経済学とマクロ経済学を履修済みまたは履修中であることが望ましい。	現代経済思想史上の文献を幅広く読み、そのなかから自分の研究テーマを探していくことが望ましい。
久野 秀二	農業経済論 国際農政論 国際政治経済学 食農社会学	International Agribusiness Studies International Political Economy of Agriculture Critical Consumption Studies Comparative Development Studies Inclusive Rural Development On-site Research Training	一般コース学生でも、国際プログラム（EAコース）で提供されているコア科目のうち、左記担当科目に加えて、Intermediate/Advanced Academic Writing and Presentation, Qualitative Research Methodsを履修すること。なお、大学院で担当する科目はすべて英語で提供されるので、高い英語運用能力が不可欠。	International Development Assistance Policy Economic Development and Policy in the Asia Pacific	国内外の農業・食料・農村問題、これらに関わる多国籍企業・国際機関・市民社会組織の役割に興味があり、学部専門レベルの農業経済学および政治経済学又は社会学・地理学・政治学等の関連社会科学を既習の学生を受け入れます。博士後期課程中に国際学会での論文発表を奨励します。
牧野 成史	経営戦略 組織論 国際経営	経営学原理	経営学方法論	とくになし	国際経営、経営戦略、組織理論の実証研究に関心のある学生を受け入れます。指導は、研究テーマに関連する経営理論と最新の実証研究の成果を批判的に評価し新たな研究課題の可能性を議論すること、理論的貢献度の高い概念枠組みを構築すること、頑健な研究方法をデザインすること、を中心に行います。研究に対して主体的に取り組む学生を歓迎します。
松井 啓之	社会・行政・経営情報論 意思決定支援	組織情報通信システムA 組織情報通信システムB 統計データ分析基礎B 統計データ分析応用B		経済学のための数学 中級統計学 統計データ分析基礎AまたはB	デジタル化が進展している社会システムにおける行政、企業、組織のあり方を考えます。社会における様々な問題の解決に興味のある学生を受け入れます。
諸富 徹	財政学 環境経済学	財政学A･財政学B 財政政策論A･財政政策論B	政策系の基礎科目	中級ミクロ経済学	財政学や環境経済学に関心をもつ学生であれば、特に受け入れ要件は課さない。
安井 大真	マクロ経済学	マクロ経済分析 人口動態とマクロ経済学	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		マクロ経済学の中でも特に経済成長論・労働経済学に関連する研究に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目でB以上の成績を修めることを指導の条件とします。
矢野 剛	移行・途上国経済分析	アジア経済数量分析1 アジア経済数量分析2 Field Research in East Asian Region A (China) Introduction to East Asian Economies Economic Transition Studies	上級ミクロ経済学 上級計量経済学	中級マクロ経済学または上級マクロ経済学	移行・途上国経済の数量的分析に興味のある学生を受け入れます。博士論文作成・提出においては、査読付学術誌に掲載決定された論文が博士論文に含まれていることを、提出の条件とします。

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
山内 裕	組織論、サービス経営、デザイン学	組織文化論	経営学方法論 経営学原理	とくになし	組織や消費の文化、デザイン、アートについて研究することに興味がある方を受け入れます。社会学、文化人類学などの幅広い理論を学ぶ意思のある方を優先して受け入れたいと思います。
山田 憲	応用ミクロ計量経済学、労働経済学	労働経済学A・B	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 上級統計学 経済学のための数学	労働経済学A・B	労働市場に関わる実証研究を行う学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、労働経済学でAの成績を修めることを指導の条件にします。
山田 仁一郎	アントレプレナーシップ、経営戦略	経営学研究法、アントレプレナーシップ論	経営学原理 経営学研究法	とくになし	経営現象や組織現象について、発生から成長、成熟化から解体と流転までの問題について広い関心を持つ学生を受け入れる方針です。先行研究を踏まえた経営学の地図の中で、研究方法の選択に自覚的に取り組むリサーチマインドを重視します。
遊喜 一洋	マクロ経済学・労働経済学	労働市場とマクロ経済学	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		マクロ経済学の中でも特に経済発展・成長論や労働経済学と関係の深い分野に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示したすべての科目でB以上の評価をとることを指導の条件とします。
劉 徳強	中国経済論 開発経済論	現代中国経済分析１ 現代中国経済分析２	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学	日本経済史A・B、国際貿易A・B、経済学のための数学	中国経済や開発経済を研究対象とする学生を受け入れます
若井 克俊	ミクロ経済学・行動ファイナンス・金融経済学	意思決定論1・2	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学	一般均衡理論 ゲーム理論 証券市場の一般均衡分析 契約の経済理論 意思決定論	個人の意思決定の研究や、そのファイナンスへの応用に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、原則として、ガイドラインの「履修すべき科目」に示したすべての大学院基礎科目について「B」以上の成績を修め、かつ、上級ミクロ経済学で「A」の成績を修めることを指導の条件とします。
若林 直樹	経営組織論	経営学研究法 経営組織論	経営学原理 経営学研究法 経営組織論 人的資源管理論	中級ミクロ 中級統計学 財務会計論A 管理会計論A 組織文化論	企業、行政組織、非営利組織に関する組織理論的な研究に関心がある学生を受け入れる予定です。組織理論の研究だけではなく実際の企業等を対象にした調査研究にも関心があることを求めます。
渡邊 純子	日本経済史	日本経済史・経営史 社会経済史リーディング 経営史・産業論リーディング	日本経済史・経営史 社会経済史リーディング 経営史・産業論リーディング 史的分析概論	世界経済史・経営史 Economic Development and Policy in the Asia Pacific Industries and Global Competition Historical Approaches to	戦前（明治期以降）～戦後（1980年代位まで）の日本経済史・経営史の分野を研究テーマする方を受け入れます。分野の特性上、外国人留学生の場合でも、日本語文献が読めることが望ましいです。
アイビンスティーブン (Ivings, Steven)	社会経済史 Socio-economic history	Economic & Business History; Advanced Academic Writing and Presentation; Intermediate Academic Writing and Presentation; Economic Policy and Development in the Asia-Pacific	Economic & Business History	Economic Development and Policy in the Asia-Pacific	I welcome students who seek to pursue research in socio-economic and business history (broadly defined). In particular I welcome students with an interest in topics such as migration and migratory labour, (post)colonial development, globalization and long-distance trade, and port cities in East and Southeast Asia.
天野　良明	財務会計 合併・買収（M&A）	財務会計論B 国際会計論A	財務会計論A・B 国際会計論A・B 中級計量経済学 統計データ分析基礎A・B	経営学原理 経営学研究法 管理会計論A・B 上級計量経済学 上級統計学 統計データ分析応用A・B	財務会計，合併・買収（M&A）に関する実証研究に興味を持つ学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合，ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件とします。
岩﨑　康平	マクロ経済学 金融	応用マクロ経済分析 分権的取引とバブルの理論	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		マクロ経済学の理論的な分析に興味のある学生を受け入れます。特に、貨幣および資産バブルに関する論文を執筆したい学生を歓迎します。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目でB以上の成績を修めることを原則として指導の条件とします。

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
高野 久紀	開発経済学	開発経済学1 開発経済学2	上級ミクロ経済学 上級計量経済学	経済学のための数学 中級マクロ経済学または上級マクロ経済学	途上国の経済開発、貧困問題に関する実証分析、理論分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めること、「開発経済学1」「開発経済学2」で「A」の成績を修めること、修士論文提出前に「アジア経済発展論研究会セミナー」で報告すること、を指導の条件にします。
竹澤 祐丈	社会思想史	社会思想史 比較社会思想史 経済哲学 史的分析概論	史的分析概論		近世・近代の英国を中心とするヨーロッパに関する概念史や思想史を専攻しようとする学生を受け入れます。博士後期課程在学中に、期間の長短に係らず留学し、博士論文にその成果を反映させることを推奨します。
長谷川 誠	公共経済学	公共経済学A 公共経済学B	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学	公共経済学A 公共経済学B	財政・公共経済学に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目でB以上の成績を修めることを指導の条件とします。
柳 貴英	計量経済学	上級計量経済学 ミクロ計量経済学	経済学のための数学 上級統計学 上級計量経済学	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学	計量経済学・統計学の理論研究に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目で「B」以上の成績を修めること、かつ、「上級計量経済学」で「A」の成績を修めることを指導の条件とします。
山﨑 潤一	応用ミクロ計量経済学	数量経済史	上級ミクロ経済学 上級計量経済学	数量経済史A 開発経済学1+2 空間経済学	都市経済学、開発経済学、歴史経済学、政治経済学の分野で応用ミクロ実証研究に関心がある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、「履修すべき科目」に挙げた全ての科目と数量経済史Aでで「B」以上の成績を修めること、かつ、「履修すべき科目」「履修すべき科目」に挙げた全ての科目のうちどれかで「A」以上の成績を修めることを指導の条件とします。
宇南山 卓	日本経済論 経済統計学 家計行動	上級マクロ経済学 応用データ分析A 応用データ分析B	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		日本経済の実証分析に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、原則として「履修すべき科目」に挙げた全ての科目でB以上の成績を修めることを条件とします。
新後閑 禎	非線型経済動学	価格理論 経済動学 経済学のための数学		学部レベルのミクロ経済学・マクロ経済学、経済学のための数学	私が専門知識と関心を有する題材で、論文を書く意欲を持つ、ということを指導の条件とします。
関口 格	ゲーム理論・情報の経済学・契約理論	ゲーム理論 動学ゲーム理論	上級ミクロ経済学、経済学のための数学（これらは成績Aが望ましい） 上級マクロ経済学、上級計量経済学（これらは成績B以上が望ましい）		テーマ選びは学生の自主性に任せ、左記研究分野に関するものならば何でも奨励する。指導は、研究に進展がある度に面談して、教員は能力が許す限り建設的なコメントを行うという形で進める。 なお、いくら学年が上がろうとも、基準に達しない研究については、学位論文作成や学会発表・雑誌投稿などの先のステップに一切進ませないので、その点を承知すること。
照山 博司	マクロ経済学 労働経済学	実証ミクロ経済分析 実証マクロ経済分析 経済学のための数値計算1 経済学のための数値計算2	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		マクロ経済学、労働経済学に関連する分野を研究テーマとする学生を受け入れます。 博士後期課程に進学する場合は、左記の「履修すべき科目」に示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件とします。
西山 慶彦	計量経済学	中級計量経済学 計量経済学1 計量経済学2	経済学のための数学 上級統計学 上級計量経済学	中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学	計量経済学、統計学に興味を持つ学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに掲げた大学院基礎科目について、B以上の成績を修めることを指導の条件にします。
原 千秋	ミクロ経済学・ファイナンス理論	一般均衡理論 上級ミクロ経済学 証券市場の一般均衡分析	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 中級計量経済学 上級統計学 経済学のための数学	上級計量経済学	ミクロ経済学・ファイナンス理論を広く深く学ぶ意欲がある学生のみを受け入れます。沢山の文献を読み、何度も原稿を書き直すことを厭わないことも必要条件です。

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
森 知也	空間経済学	空間経済学 集積の経済学 経済地理学	上級ミクロ経済学 上級計量経済学 上級統計学 経済学のための数学	上級マクロ経済学 都市経済学 国際貿易論 国際経済学	集積の経済学、都市経済学、経済地理学等、空間経済学に関する経済分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
渡辺　誠	応用経済理論	取引仲介の経済学 応用経済理論	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		応用ミクロ的、マクロ動学的な手法を用いてオリジナルの理論モデル分析を志す学生を対象とします。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
髙橋 修平	マクロ経済学	上級マクロ経済学 数値計算経済学	上級ミクロ経済学 経済学のための数学 上級マクロ経済学	数値計算経済学 上級計量経済学	マクロ経済学に興味のある学生を受け入れます。動学一般均衡モデル（特にニューケインジアンモデルや経済主体の異質性を考慮したモデル）を用いて、景気循環や財政金融政策を分析しようとする学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
陳 珈惠	ミクロ経済学 情報の経済学	上級ミクロ経済学 情報とインセンティブ 契約理論	上級ミクロ経済学 上級マクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学		情報の経済学に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、上級ミクロ経済学は「A」、その他のガイドラインに示した科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。